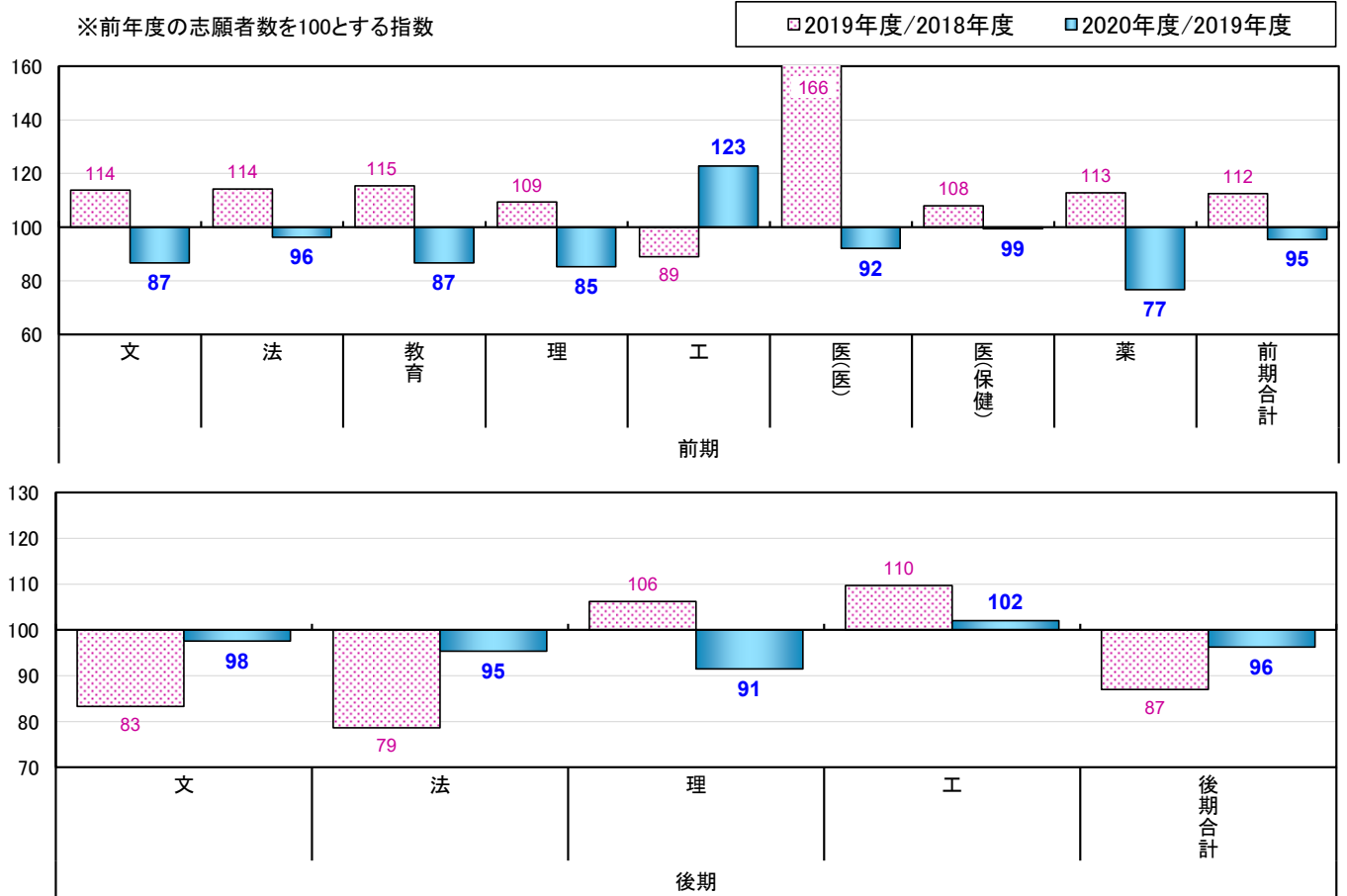


2020年度入試状況分析【国公立大】

熊本大：前期は2年ぶりに減少、後期は7年連続減少

前期：-152人 後期：-41人



入試変更点 募集人員：医(医)〈前〉…95人→90人

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は152人(95)のやや減少で2年ぶりに減少。学部別では、増加したのは工(123)のみ。後期は41人(96)のやや減少で7年連続減少。学部別では、増加したのは前期同様に工(102)のみ。

〈前期日程〉

- 文(87)は、前年度3年ぶりに増加した反動で減少。学科別では、(歴史)(132)のみ大幅増加、他の3学科は全て大幅減少で、特に(コミュニケーション情報)(68)は2年連続増加の反動で30%以上減少。
- 法(96)は、前年度増加の反動は小さく、やや減少に留まった。
- 教育(87)は、前年度大幅増加の反動で減少。課程・専攻別では、(中学/美術)(238)が倍以上、(中学/英語)(175)が大幅増加、一方で(中学/技術)(33)の激減、(中学/国語)(67)、(中学/数学)(70)、(小学)(76)、(中学/家庭)(77)、(中学/社会)(83)、(中学/保健体育)(83)が大幅減少と大きな増減が目立った。
- 理(85)は、大幅減少。2013年度以降、前年度の反動による増減が継続。
- 工(123)は、大幅増加。2013年度以降、前年度の反動による増減が継続。学科別では、(土木建築)(91)は減少だが、他の3学科は増加で、特に(情報電気工)(153)、(材料応用化学)(149)は大幅増加。
- 医(医)(92)は、前年度大幅増加の反動で減少。2013年度以降、前年度の反動による増減が継続。なお、募集人員の減少(前年度対比-5.3%)があったので、志願倍率は5.6倍→5.4倍とわずかなダウンに留まった。
- 医(保健)(99)は、前年度増加の反動は小さく前年度並。専攻別では、(保健/検査技術)(139)が大幅増加、一方で(保健/看護)(78)は大幅減少。
- 薬(77)は、前年度増加の反動と系統への低人気で大幅減少。2学科ともに大幅減少、特に(創薬・生命薬科学)(57)は半減近い減少。

〈後期日程〉

- 文(98)は、微減だが3年連続減少。学科別では、(コミュニケーション情報)(152)が大幅増加、一方で(総合人間)(82)は大幅減少。
- 法(95)は、やや減少で3年連続減少。
- 理(91)は、3年連続増加の反動で減少。志願倍率も9.4倍→8.6倍にダウンし、2年ぶりに9倍を下回った。
- 工(102)は、微増だが2年連続増加。学科別では、(情報電気工)(151)が大幅増加、一方で(材料応用化学)(79)は大幅減少。